

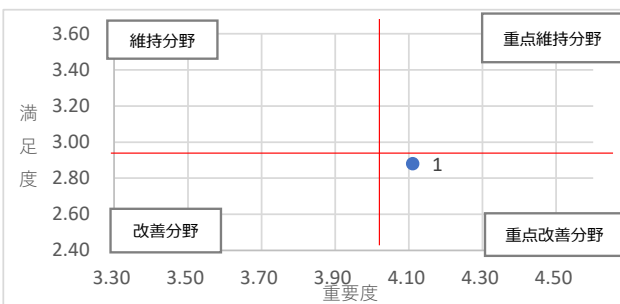
基礎評価シート（令和４年度 実績）

予算等事業名	小中一貫教育推進事業				所管課	教育総務課
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	●
事業対象	学校	目的	時代の要請や社会の動向を踏まえ、教育の改善やその振興及び充実を図る。			
事業概要	教育に関する専門的・技術的事項の研究（英語教育の推進、小中一貫教育の研究等）及び教育研修を行う。					

事業予算						
会計	01	款項目	09	01	02	大事業 0002 教育研究所経費（小中一貫教育推進事業）
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算額
						R 4 決算額
	直接事業費	344		3,193		533
	概算人件費	4,460		5,441		5,414
	トータルコスト	4,804		8,634		5,947
	国庫/県支出金	0		0		416
	その他	0		0		0
		正規職員		0.28 人		1,558 千円
		再任用職員		人		千円
		会計年度任用職員		1 人		2,788 千円
		その他		人		千円
		合計				4,346 千円

成果指標		基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績
①	将来に夢や目標を持っている児童生徒の割合【戦略】（％）	75.6	75.6	コロナに伴い中止	72.2	73.3
②						

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	教育内容の向上	4.11	2.88
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく			
重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い			
維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく			
改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			



分析						
分析の視点	高い	←————→				低い
	5	4	3	2	1	
必要性	■	□	□	□	□	
必然性	■	□	□	□	□	
緊急性	□	■	□	□	□	
実効性	□	■	□	□	□	
時代即応性	■	□	□	□	□	
持続可能性	□	■	□	□	□	
成果・課題等	・令和５年度の分離型小中一貫教育校の開校に向けて着実に準備を進めることができた。 ・施設一体型小中一貫教育校設置研究会を立ち上げて議論を開始した。 ・今後も小中学校の先生によるカリキュラム研究を継続的に実施していくとともに、子ども同士の交流を促進し、9年間を見通した学びを実現させるための取り組みを実施していく。					

必要性	必然性	緊急性	実効性	時代即応性
5	4	2	2	1

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	拡大・拡充
2次評価（庁内）	総合評価	良好	方向性	拡大・拡充
	意見			

基礎評価シート（令和４年度 実績）

予算等事業名	児童・生徒安全対策事業				所管課	教育総務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）		総合戦略
	●	●			●		●
事業対象	学校・地域	目的	地域との連携を強化することで、児童・生徒の日常的な防災意識の高揚と災害時の安全確保を図る。				
事業概要	児童・生徒の安全対策について、地域住民や保護者等の要望・意見を集約し、関係団体との連携により、実効性ある行動計画を企画・立案する。						

事業予算								
会計	01	款項目	09	01	02	大事業	0004 児童・生徒安全対策事業	
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算額		R 4 決算額
	直接事業費	2,152		2,057		2,016		2,103
	概算人件費	859		507		619		558
	トータルコスト	3,011		2,564		2,635		2,661
国庫/県支出金		0		0		0		0
その他		0		0		0		0
R 4 概算人件費		正規職員		0.08 人		558 千円		
		再任用職員		人		千円		
		会計年度任用職員		人		千円		
		その他		人		千円		
		合計				558 千円		

成果指標		基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績
①	通学路点検対応箇所数（合同点検実施箇所＋合同点検未実施のうち対策済みの箇所数）（箇所）	5	15	41	33	38
②						

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	教育内容の向上	4.11	2.88
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			

分析

分析の視点	高い ← → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□

Category	Score
必要性	5
必然性	4
緊急性	3
実効性	2
時代即応性	1
持続可能性	1

成果・課題等

合同点検等を実施することで、通学路の危険箇所の情報共有が保護者や関係団体等と図ることができており、安全対策の促進につながっている。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

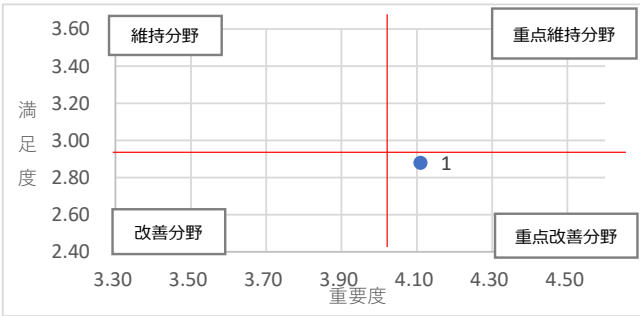
基礎評価シート（令和4年度 実績）

予算等事業名	教育振興経費				所管課	教育総務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）		総合戦略
	●			●	●		
事業対象	学校	目的	児童生徒が健康で安全な学校生活が送れるように努める。				
事業概要	心臓病判定委員会、健康診断日程調整会議等、児童生徒の健康管理に関する事務及び、水泳教室送迎バス借上、事業の実施。						

事業予算							
会計	01	款項目	09	01	03	大事業	0002 教育振興経費
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算額	
						R 4 決算額	
	直接事業費	3,181		45,180		7,139	
	概算人件費	1,822		1,232		1,329	
トータルコスト		5,003		46,412		8,468	
国庫/県支出金		0		309		3,148	
その他		0		0		0	
R 4 概算人件費		正規職員		0.26 人		1,259 千円	
		再任用職員		人		千円	
		会計年度任用職員		人		千円	
		その他		人		千円	
		合計				1,259 千円	

成果指標		基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績
①	—					

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	教育内容の向上	4.11	2.88
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			



分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	■	□	□	□	□
実効性	■	□	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	■	□	□	□	□

必要性

必然性

緊急性

実効性

時代即応性

持続可能性

成果・課題等	・コロナ禍に伴う感染症対策、物価高騰による給食食材費の値上がりへの対応など、児童生徒が安全に学校生活を送るために必要な経費であり適正に事業を執行することができた。
	・水泳事業は再開できたものの、コロナの影響により一部縮小するなどの課題はあったが、今後も柔軟に対応をしていく。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和４年度 実績）

予算等事業名	学校図書館推進事業				所管課	教育総務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）		総合戦略
	●				●		
事業対象	学校	目的	図書館環境を整えることで、児童生徒の創意あふれた学習活動の充実を図る。				
事業概要	学校図書館に司書を派遣し、学校図書館の読書環境の整備とレファレンスへの対応、広報活動による図書館の活性化を図る。						

事業予算							
会計	01	款項目	09	01	03	大事業	0006 学校図書館推進事業
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算額	
						R 4 決算額	
	直接事業費	899		1,106		1,697	
	概算人件費	3,197		3,110		30,394	
トータルコスト		4,096		4,216		32,091	
国庫/県支出金		0		0		0	
その他		0		0		0	
R 4 概算人件費		正規職員		0.03 人		375 千円	
		再任用職員		人		千円	
		会計年度任用職員		4 人		3,275 千円	
		その他		人		千円	
		合計				3,650 千円	

成果指標		基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績
①	貸出冊数（冊）	21,600	26,000	17,306	18,239	22,231
②						

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	教育内容の向上	4.11	2.88
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			

分析

分析の視点	高い 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	□	■	□	□
持続可能性	□	□	■	□	□
成果・課題等	コロナ禍の影響で利用制限があるものの、令和3年度と比較すると貸出数は伸びており、読書活動や調べもの学習等で有効活用されている。				

必要性

5

4

3

2

1

必然性

5

4

3

2

1

緊急性

5

4

3

2

1

実効性

5

4

3

2

1

時代即応性

5

4

3

2

1

持続可能性

5

4

3

2

1

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和４年度 実績）

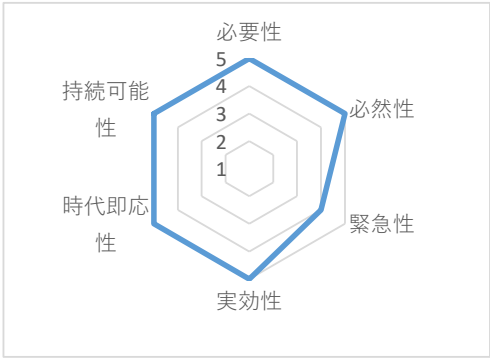
予算等事業名	英語教育推進事業				所管課	教育総務課
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	●
事業対象	学校	目的	国際化が日常化する中で、学習を通じ、小中学生の日本や外国の文化等への理解を深めるとともに、英語による実践的なコミュニケーション能力を高める。			
事業概要	各学校へのALTの配置及び英語教材の整備を行うとともに、英語検定受験の奨励を行う。					

事業予算							
会計	01	款項目	09	01	03	大事業	0009 英語教育推進事業
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算額	
						R 4 決算額	
	直接事業費	8,325		8,487		8,884	
	概算人件費	888		348		364	
トータルコスト		9,213		8,835		9,248	
国庫/県支出金		0		0		0	
その他		0		0		11	
R 4 概算人件費		正規職員		0.06 人		364 千円	
		再任用職員		人		千円	
		会計年度任用職員		人		千円	
		その他		人		千円	
		合計				364 千円	

成果指標		基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績
①	中学校卒業時における英検3級の取得率【戦略】（％）	45.8	コロナの為不明	35.2	42.6	18.1
②	全国学力学習状況調査全国平均との差（点）	± 0	+ 4	－	－	－

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	教育内容の向上	4.11	2.88
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			

分析					
分析の視点	高い	← 5 4 3 2 1 →			
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	■	□	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	■	□	□	□	□
成果・課題等	卒業時の英検の取得率は、R3より24.5ポイント減少した。文科省の目指す50%まで達していないため、今後も一層の奨励を行っていく。				



※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和４年度 実績）

予算等事業名		学校間ネットワーク推進事業				所管課		教育総務課							
事業の根拠		法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略								
		●				●									
事業対象		学校	目的	「e-japan重点計画」、「学習指導要領」、「学校教育の情報化推進計画」に基づき、ICT環境を充実させ、事務の効率化及び学校の安全管理を図る。											
事業概要		学校間ネットワーク及び校務支援システムの整備を行う。													
事業予算															
会計	01	款項目	09	01	03	大事業 0010 学校間ネットワーク推進事業									
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算額		R 4 決算額							
直接事業費		10,818		9,348		17,646		23,431							
概算人件費		609		793		757		757							
トータルコスト		11,427		10,141		18,403		24,188							
国庫/県支出金		0		0		0		0							
その他		0		0		0		0							
R 4 概算人件費		正規職員		0.15 人		757 千円									
		再任用職員		人		千円									
		会計年度任用職員		人		千円									
		その他		人		千円									
		合計				757 千円									
成果指標			基準値		R1実績		R 2 実績		R 3 実績		R 4 実績				
①	教職員の時間外勤務の平均値 (グループウェアタイムカード機能による積算値) (h/月)		39.2		39.2		38.8		47.3		44.3				
町民満足度調査結果（平成30年度）															
	該当施策		重要度		満足度										
1	教育内容の向上		4.11		2.88										
2			#N/A		#N/A										
3			#N/A		#N/A										
全体平均			3.97		2.97										
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく															
重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い															
維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく															
改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要															
分析															
分析の視点		高い ← 低い													
		5	4	3	2	1									
必要性	■	□	□	□	□										
必然性	■	□	□	□	□										
緊急性	□	■	□	□	□										
実効性	□	■	□	□	□										
時代即応性	■	□	□	□	□										
持続可能性	■	□	□	□	□										
成果・課題等		・勤務実態を正確に把握するため、勤怠管理システムにより、時間外勤務を可視化し、意識啓発を行ってきた。 ・コロナ禍における感染症対策等以外にも教員が行う業務は慢性的に増加傾向にあるが、環境整備をすることで事務の効率化できるものについては整理をし、教員の働き方改革を推進していく。													
※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性：「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」															
1次評価(所管課)		総合評価		適当		方向性		現状維持							
2次評価（庁内）		総合評価		適当		方向性		現状維持							
		意見													

基礎評価シート（令和４年度 実績）

予算等事業名			ICT教育推進事業				所管課		教育総務課	
事業の根拠			法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）		総合戦略	
			●				●		●	
事業対象			学校	目的	ICT環境整備を推進することで、効率的かつ質の高い授業展開を図る。					
事業概要			新学習指導要領に対応した、教育用コンピューター等のICT環境を整備する。							

事業予算									
会計	01	款項目	09	01	03	大事業	0014 ICT教育推進事業		
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算額		R 4 決算額	
	直接事業費	4,870		86,238		56,897		57,112	
	概算人件費	994		2,936		2,200		2,530	
	トータルコスト	5,864		89,174		59,097		59,642	
国庫/県支出金		0		21,312		901		1,102	
その他		0		0		0		0	
R 4 概算人件費	正規職員		0.53 人		2,530 千円				
	再任用職員		人		千円				
	会計年度任用職員		人		千円				
	その他		人		千円				
	合計				2,530 千円				

成果指標		基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績
①	授業でもっとICTを活用したいか（全国学状調査）（％）	80	小88.6 中76.3	コロナに伴い中止	R3から項目なし	R3から項目なし
②	週1回以上授業でICTを使用したか（全国学状調査）（％）	80	小28.1 中37.2	コロナに伴い中止	小22.2 中68.1	小89.7 中96.4

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	教育内容の向上	4.11	2.88
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析					
分析の視点	高い	低い			
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	□	■	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	■	□	□	□	□
成果・課題等	・令和２年度に国の「GIGAスクール構想」に基づき、１人１台端末や校内のネットワーク環境を整備した。成果指標からも小中ともに授業においてICTを積極的に活用してきていることが伺える。 ・引き続きICTを活用した授業実践を積み重ねていき、情報活用能力の育成に向けた系統的な指導のあり方について研究していく。				

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和４年度 実績）

予算等事業名	二宮小学校教育振興経費				所管課	教育総務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
		●	●		●		
事業対象	学校	目的	教科書、指導書、備品等の購入を通じて、児童の教育効果の向上を図る。				
事業概要	教育効果向上に資する消耗品・備品等を購入する。						

事業予算								
会計	01	款項目	09	02	02	大事業	0001 二宮小学校教育振興経費	
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算額		R 4 決算額
	直接事業費	2,135		7,778		1,789		2,343
	概算人件費	455		785		817		825
	トータルコスト	2,590		8,563		2,606		3,168
国庫/県支出金		0		720		0		0
その他		0		0		0		0
R 4 概算人件費		正規職員		0.18 人		825 千円		
		再任用職員		人		千円		
		会計年度任用職員		人		千円		
		その他		人		千円		
		合計				825 千円		

成果指標		基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績
①	—					
②						

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	教育内容の向上	4.11	2.88
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			

分析

分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□
成果・課題等	必要な消耗品や備品等の購入により、教育効果の向上が図られている。また、今後、安定的に備品が整備できるよう備品整備計画を作成した。				

必要性

必然性

緊急性

実効性

時代即応性

持続可能性

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和４年度 実績）

予算等事業名	一色小学校教育振興経費				所管課	教育総務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
		●	●		●		
事業対象	学校	目的	教科書、指導書、備品等の購入を通じて、児童の教育効果の向上を図る。				
事業概要	教育効果向上に資する消耗品・備品等を購入する。						

事業予算								
会計	01	款項目	09	02	02	大事業	0002 一色小学校教育振興経費	
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算額		R 4 決算額
	直接事業費	1,267		6,924		1,119		991
	概算人件費	455		785		817		825
	トータルコスト	1,722		7,709		1,936		1,816
国庫/県支出金		0		585		0		0
その他		0		0		0		0
R 4 概算人件費		正規職員		0.68 人		825 千円		
		再任用職員		人		千円		
		会計年度任用職員		人		千円		
		その他		人		千円		
		合計				825 千円		

成果指標		基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 見込
①	—					
②						

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	教育内容の向上	4.11	2.88
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			

分析

分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□
成果・課題等	必要な消耗品や備品等の購入により、教育効果の向上が図られている。また、今後、安定的に備品が整備できるよう備品整備計画を作成した。				

必要性

必然性

緊急性

実効性

時代即応性

持続可能性

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和４年度 実績）

予算等事業名	山西小学校教育振興経費				所管課	教育総務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
		●	●		●		
事業対象	学校	目的	教科書、指導書、備品等の購入を通じて、児童の教育効果の向上を図る。				
事業概要	教育効果向上に資する消耗品・備品等を購入する。						

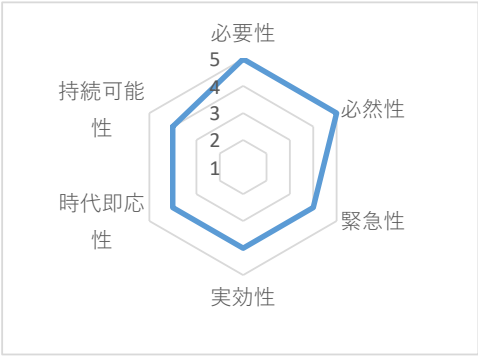
事業予算							
会計	01	款項目	09	02	02	大事業	0003 山西小学校教育振興経費
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算額	
						R 4 決算額	
	直接事業費	1,684		5,731		1,502	
	概算人件費	455		592		817	
	トータルコスト	2,139		6,323		2,319	
国庫/県支出金		0		360		0	
その他		0		0		0	
R 4 概算人件費		正規職員		0.15 人		825 千円	
		再任用職員		人		千円	
		会計年度任用職員		人		千円	
		その他		人		千円	
		合計				825 千円	

成果指標		基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績
①	—					
②						

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	教育内容の向上	4.11	2.88
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			

分析

分析の視点	高い					低い
	5	4	3	2	1	
必要性	■	□	□	□	□	
必然性	■	□	□	□	□	
緊急性	□	■	□	□	□	
実効性	□	■	□	□	□	
時代即応性	□	■	□	□	□	
持続可能性	□	■	□	□	□	
成果・課題等	必要な消耗品や備品等の購入により、教育効果の向上が図られている。また、今後、安定的に備品が整備できるよう備品整備計画を作成した。					



※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性：「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和４年度 実績）

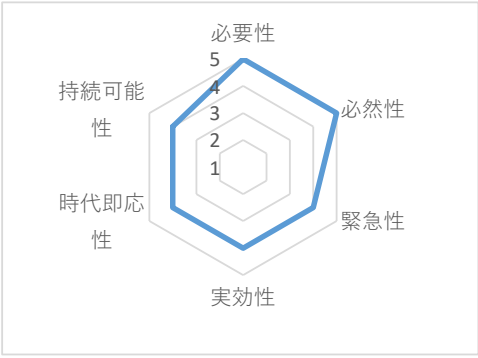
予算等事業名	二宮中学校教育振興経費				所管課	教育総務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
		●	●		●		
事業対象	学校	目的	教科書、指導書、備品等の購入を通じて、生徒の教育効果の向上を図る。				
事業概要	教育効果向上に資する消耗品・備品等を購入する。						

事業予算								
会計	01	款項目	09	03	02	大事業	0001 二宮中学校教育振興経費	
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算額		R 4 決算額
	直接事業費	2,559		4,197		4,790		3,003
	概算人件費	455		664		817		825
	トータルコスト	3,014		4,861		5,607		3,828
国庫/県支出金		0		495		0		0
その他		0		0		0		0
R 4 概算人件費		正規職員		0.16 人		825 千円		
		再任用職員		人		千円		
		会計年度任用職員		人		千円		
		その他		人		千円		
		合計				825 千円		

成果指標		基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績
①	—					
②						

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	教育内容の向上	4.11	2.88
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			

分析						
分析の視点	高い					低い
	5	4	3	2	1	
必要性	■	□	□	□	□	
必然性	■	□	□	□	□	
緊急性	□	■	□	□	□	
実効性	□	■	□	□	□	
時代即応性	□	■	□	□	□	
持続可能性	□	■	□	□	□	
成果・課題等	必要な消耗品や備品等の購入により、教育効果の向上が図られている。また、今後、安定的に備品が整備できるよう備品整備計画を作成した。					



項目	1	2	3	4	5
必要性	1	2	3	4	5
必然性	1	2	3	4	5
緊急性	1	2	3	2	1
実効性	1	2	3	2	1
時代即応性	1	2	3	2	1

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和４年度 実績）

予算等事業名	二宮西中学校教育振興経費				所管課	教育総務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）		総合戦略
		●	●		●		
事業対象	学校	目的	教科書、指導書、備品等の購入を通じて、生徒の教育効果の向上を図る。				
事業概要	教育効果向上に資する消耗品・備品等を購入する。						

事業予算							
会計	01	款項目	09	03	02	大事業	0002 二宮西中学校教育振興経費
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算額	
						R 4 決算額	
	直接事業費	2,216		4,481		4,100	
	概算人件費	455		1,265		817	
トータルコスト		2,671		5,746		4,917	
国庫/県支出金		0		405		0	
その他		0		0		0	
R 4 概算人件費		正規職員		0.26 人		825 千円	
		再任用職員		人		千円	
		会計年度任用職員		人		千円	
		その他		人		千円	
		合計				825 千円	

成果指標		基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績
①	—					
②						

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	教育内容の向上	4.11	2.88
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			

分析

分析の視点	高い					低い
	5	4	3	2	1	
必要性	■	□	□	□	□	
必然性	■	□	□	□	□	
緊急性	□	■	□	□	□	
実効性	□	■	□	□	□	
時代即応性	□	■	□	□	□	
持続可能性	□	■	□	□	□	
成果・課題等	必要な消耗品や備品等の購入により、教育効果の向上が図られている。また、今後、安定的に備品が整備できるよう備品整備計画を作成した。					

必要性	必然性	緊急性	実効性	時代即応性	持続可能性
5	4	2	4	4	4

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和４年度 実績）

予算等事業名	支援教育推進事業				所管課	教育総務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）		総合戦略
					●		●
事業対象	学校	目的	支援を必要とする児童・生徒に対する学習及び生活支援を行い、安心して学校生活を送るための環境整備を図る。				
事業概要	各学校に支援教育補助員を配置し、支援体制の強化を図る。						

事業予算						
会計	01	款項目	09	01	03	大事業 0007 支援教育推進事業
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算額
						R 4 決算額
	直接事業費	30		724		910
	概算人件費	20,217		21,465		23,808
	トータルコスト	20,247		22,189		24,718
	国庫/県支出金	0		0		0
	その他	0		0		0
R 4 概算人件費	正規職員		0.18 人		1,324 千円	
	再任用職員		人		千円	
	会計年度任用職員		30 人		26,671 千円	
	その他		人		千円	
	合計				27,995 千円	

成果指標	基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績
① 支援教育補助員の人数（人）	24	24	24	24	24
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	支援を必要とする児童生徒への対応の充実	4.02	2.96
2	教育相談の充実	3.93	2.95
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

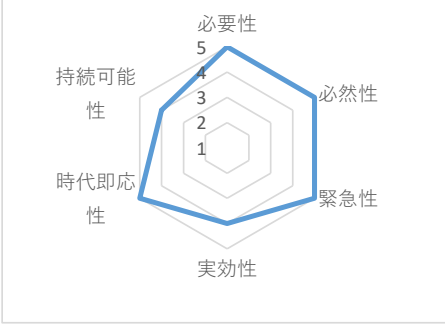
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが高満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析					
分析の視点	高い	4	3	2	低い
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	■	□	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□



成果・課題等	・教員と支援教育補助員が連携することで、学習や学校生活を送るなかで課題や困難が生じる児童生徒に対して、支援を図ることができた。 ・困難さや課題が多様化する児童生徒に対し、一人ひとりの状況に応じたきめ細かい対応をする必要があり、また医療的ケア児への支援など学校現場に対し様々なニーズが高まっているため、国への教職員定数の改善を求めつつ、支援教育補助員等のサポート体制をより充実する必要がある。
--------	---

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性：「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	拡大・拡充
2次評価（庁内）	総合評価	良好	方向性	拡大・拡充
	意見			

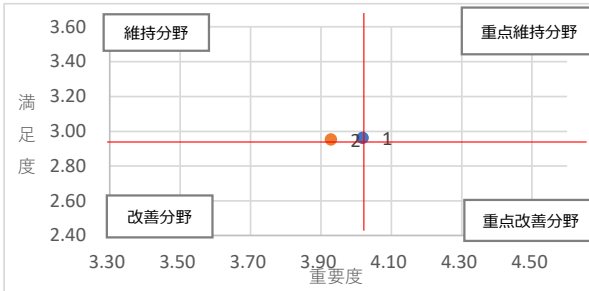
基礎評価シート（令和４年度 実績）

予算等事業名	教育相談・教育支援室事業				所管課	教育総務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）		総合戦略
					●		●
事業対象	学校	目的	学業上の悩みについての教育相談及び不登校児童・生徒への支援を通じて、児童生徒の心のケアを図る。				
事業概要	心理士、スクールソーシャルワーカー等による教育相談を行うとともに、不登校児童・生徒への支援を行う。						

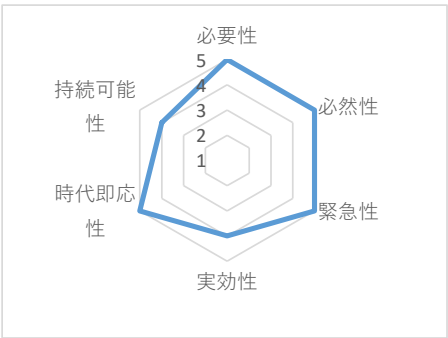
事業予算								
会計	01	款項目	09	01	03	大事業	0001	教育相談・教育支援室事業
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算額		R 4 決算額
	直接事業費	261		168		187		146
	概算人件費	6,316		7,794		6,675		6,825
トータルコスト		6,577		7,962		6,862		6,971
国庫/県支出金		0		0		0		0
その他		0		0		0		0
R 4 概算人件費		正規職員		0.33 人		1,970 千円		
		再任用職員		人		千円		
		会計年度任用職員		6 人		4,855 千円		
		その他		人		千円		
		合計				6,825 千円		

成果指標		基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績
①	年間相談件数（件）	1056	1275	1460	1510	1401
②	相談援助職の月あたりの合計稼働日数（県雇用含む）（日）	心理・ＳＣ 20 ＳＳＷ 10	心理・ＳＣ 20 ＳＳＷ 10	心理・ＳＣ 20 ＳＳＷ 14	心理・ＳＣ 20 ＳＳＷ 15	心理・ＳＣ 20 ＳＳＷ 15

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	支援を必要とする児童生徒への対応の充実	4.02	2.96
2	教育相談の充実	3.93	2.95
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			



分析					
分析の視点	高い	←→ 低い			
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	■	□	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□
成果・課題等	教育相談件数は減少したが、ニーズは依然として高い。不登校の未然防止や困り感を抱える児童生徒の早期発見、早期対応していくために、常駐型に切り替えるなど体制の充実を図る必要がある。				



※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」		※ 方向性 「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」		
1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	拡大・拡充
2次評価（庁内）	総合評価	良好	方向性	拡大・拡充
	意見			

基礎評価シート（令和４年度 実績）

予算等事業名		コミュニティ・スクール運営促進事業				所管課	教育総務課	
事業の根拠		法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
			●			●	●	
事業対象		学校・地域	目的	地域とともにある学校づくりの手法のひとつとして、コミュニティ・スクールの運営を促進することで、児童生徒の豊かな成長を支援する。				
事業概要		学校運営協議会の活動に対する支援及び組織体制の強化を図る。						

事業予算								
会計	01	款項目	09	01	03	大事業	0011 コミュニティ・スクール運営促進事業	
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算額		R 4 決算額
	直接事業費	2,402		2,501		2,454		2,701
	概算人件費	878		201		393		323
	トータルコスト	3,280		2,702		2,847		3,024
国庫/県支出金		0		0		0		0
その他		0		0		0		0
R 4 概算人件費	正規職員		0.03 人		323 千円			
	再任用職員		人		千円			
	会計年度任用職員		人		千円			
	その他		人		千円			
	合計				323 千円			

成果指標		基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績
①	各校の学校運営協議会の開催回数（回）	4	3.2	3.4	3.8	3.8
②						

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	地域と連携した教育活動の充実	3.89	3.07
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析					
分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	□	■	□	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□
成果・課題等	・学習協力者、体育・文化活動指導員等による地域教育力を活用した授業を実施し、地域の協力を得て、木工体験や楽器演奏体験、生き物観察、キャリア教育を行うなど学校ごとに応じた取り組みができた。 ・令和５年度より、施設分離型小中一貫教育校が開校するにあたり、児童生徒間での交流が図れるような取り組みについても研究する必要がある。				

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和４年度 実績）

予算等事業名	二宮小学校施設管理運営経費 ※				所管課	教育総務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）		総合戦略
	●		●		●		
事業対象	学校	目的	学校運営の充実及び児童の安全の確保に努める。				
事業概要	学校運営に必要な消耗品や燃料の購入および設備修繕を行う。						

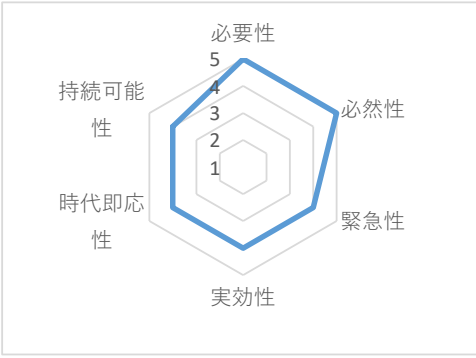
事業予算							
会計	01	款項目	09	02	01	大事業	0002 二宮小学校施設管理運営経費
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算額	
						R 4 決算額	
	直接事業費	2,638		2,252		3,137	
	概算人件費	2,822		3,403		3,640	
トータルコスト		5,460		5,655		6,777	
国庫/県支出金		0		0		0	
その他		0		0		0	
R 4 概算人件費		正規職員		0.63 人		2,853 千円	
		再任用職員		人		千円	
		会計年度任用職員		0.5 人		550 千円	
		その他		人		千円	
		合計				3,403 千円	

成果指標		基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績
①	—					
②						

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	安全・安心な教育施設の整備	4.21	2.93
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			

分析

分析の視点	高い					低い
	5	4	3	2	1	
必要性	■	□	□	□	□	
必然性	■	□	□	□	□	
緊急性	□	■	□	□	□	
実効性	□	■	□	□	□	
時代即応性	□	■	□	□	□	
持続可能性	□	■	□	□	□	
成果・課題等	必要な資材の購入や修繕の実施により、適切な学校の管理運営が図られている。					



必要性	必然性	緊急性	実効性	時代即応性
5	4	3	3	1

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和４年度 実績）

予算等事業名	一色小学校施設管理運営経費 ※				所管課	教育総務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）		総合戦略
	●		●		●		
事業対象	学校	目的	学校運営の充実及び児童の安全の確保に努める。				
事業概要	学校運営に必要な消耗品や燃料の購入および設備修繕を行う。						

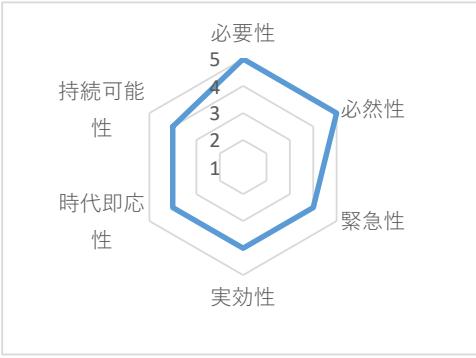
事業予算								
会計	01	款項目	09	02	01	大事業	0003 一色小学校施設管理運営経費	
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算額		R 4 決算額
	直接事業費	1,471		1,416		2,037		4,385
	概算人件費	2,071		2,948		3,640		3,706
	トータルコスト	3,542		4,364		5,677		8,091
国庫/県支出金		0		0		0		0
その他		0		0		0		0
R 4 概算人件費		正規職員		0.63 人		3,039 千円		
		再任用職員		人		千円		
		会計年度任用職員		0.5 人		667 千円		
		その他		人		千円		
		合計				3,706 千円		

成果指標		基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績
①	—					
②						

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	安全・安心な教育施設の整備	4.21	2.93
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			

分析

分析の視点	高い					低い
	5	4	3	2	1	
必要性	■	□	□	□	□	
必然性	■	□	□	□	□	
緊急性	□	■	□	□	□	
実効性	□	■	□	□	□	
時代即応性	□	■	□	□	□	
持続可能性	□	■	□	□	□	
成果・課題等	必要な資材の購入や修繕の実施により、適切な学校の管理運営が図られている。					



※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和４年度 実績）

予算等事業名	山西小学校施設管理運営経費 ※				所管課	教育総務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）		総合戦略
	●		●		●		
事業対象	学校	目的	学校運営の充実及び児童の安全の確保に努める。				
事業概要	学校運営に必要な消耗品や燃料の購入および設備修繕を行う。						

事業予算								
会計	01	款項目	09	02	01	大事業	0004 山西小学校施設管理運営経費	
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算額		R 4 決算額
	直接事業費	2,005		1,706		2,475		5,060
	概算人件費	2,822		2,662		1,851		10,227
	トータルコスト	4,827		4,368		4,326		15,287
国庫/県支出金		0		0		0		0
その他		0		0		0		0
R 4 概算人件費		正規職員		0.63 人		3,307 千円		
		再任用職員		人		千円		
		会計年度任用職員		0.5 人		6,920 千円		
		その他		人		千円		
		合計				10,227 千円		

成果指標		基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績
①	—					
②						

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	安全・安心な教育施設の整備	4.21	2.93
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			

分析

分析の視点	高い 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□
成果・課題等	必要な資材の購入や修繕の実施により、適切な学校の管理運営が図られている。				

必要性

5

4

3

2

1

必然性

5

4

3

2

1

緊急性

5

4

3

2

1

実効性

5

4

3

2

1

時代即応性

5

4

3

2

1

持続可能性

5

4

3

2

1

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和４年度 実績）

予算等事業名	二宮小学校教育施設整備事業 ※				所管課	教育総務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）		総合戦略
	●		●		●		
事業対象	学校	目的	学校施設改修及び備品購入を行い、教育環境の整備に努める。				
事業概要	学校施設の工事および備品購入を行う。						

事業予算							
会計	01	款項目	09	02	01	大事業	0006 二宮小学校教育施設整備事業
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算額	
						R 4 決算額	
	直接事業費	2,540		3,545		22,074	
	概算人件費	2,783		3,426		3,991	
トータルコスト		5,323		6,971		26,065	
国庫/県支出金		0		1,317		0	
その他		0		0		0	
R 4 概算人件費		正規職員		0.62 人		2,714 千円	
		再任用職員		人		千円	
		会計年度任用職員		0.5 人		550 千円	
		その他		人		千円	
		合計				3,264 千円	

成果指標		基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績
①	—					
②						

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	安全・安心な教育施設の整備	4.21	2.93
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			

分析

分析の視点	高い					低い
	5	4	3	2	1	
必要性	■	□	□	□	□	
必然性	■	□	□	□	□	
緊急性	□	■	□	□	□	
実効性	□	■	□	□	□	
時代即応性	□	■	□	□	□	
持続可能性	□	■	□	□	□	
成果・課題等	必要性 5 4 3 2 1 必然性 緊急性 実効性 時代即応性 持続可能性 ・必要な学校施設の整備により、児童生徒の教育環境が整備できている。 ・施設・設備の経年による老朽化への計画的な対応が必要となっている。					

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

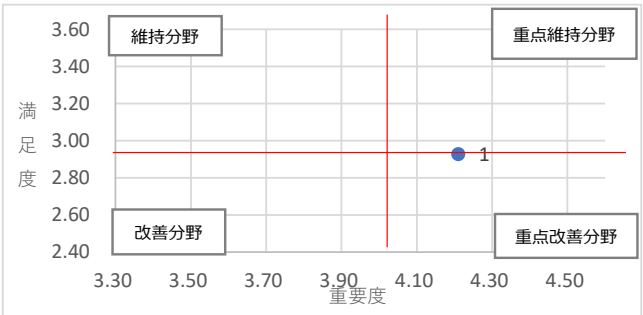
基礎評価シート（令和４年度 実績）

予算等事業名	一色小学校教育施設整備事業 ※				所管課	教育総務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）		総合戦略
	●		●		●		
事業対象	学校	目的	学校施設改修及び備品購入を行い、教育環境の整備に努める。				
事業概要	学校施設の工事および備品購入を行う。						

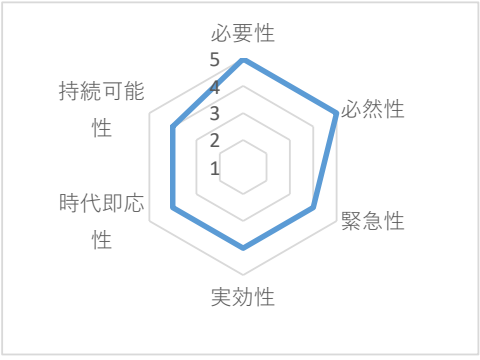
事業予算							
会計	01	款項目	09	02	01	大事業	0007 一色小学校教育施設整備事業
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算額	
						R 4 決算額	
	直接事業費	2,986		1,936		6,339	
	概算人件費	2,031		2,971		3,493	
トータルコスト		5,017		4,907		9,832	
国庫/県支出金		0		1,242		0	
その他		0		0		0	
R 4 概算人件費		正規職員		0.7 人		3,194 千円	
		再任用職員		人		千円	
		会計年度任用職員		0.5 人		667 千円	
		その他		人		千円	
		合計				3,861 千円	

成果指標		基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 見込
①	—					
②						

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	安全・安心な教育施設の整備	4.21	2.93
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			



分析					
分析の視点	高い	←──			



※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和４年度 実績）

予算等事業名	山西小学校教育施設整備事業 ※				所管課	教育総務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）		総合戦略
	●		●		●		
事業対象	学校	目的	学校施設改修及び備品購入を行い、教育環境の整備に努める。				
事業概要	学校施設の工事および備品購入を行う。						

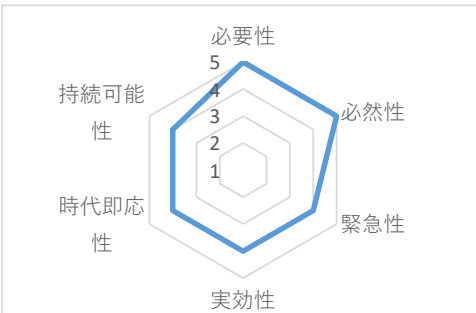
事業予算							
会計	01	款項目	09	02	01	大事業	0008 山西小学校教育施設整備事業
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算額	
						R 4 決算額	
	直接事業費	720		2,868		9,791	
	概算人件費	2,783		2,781		1,704	
トータルコスト		3,503		5,649		11,495	
国庫/県支出金		0		974		0	
その他		0		0		0	
R 4 概算人件費		正規職員		0.63 人		3,168 千円	
		再任用職員		人		千円	
		会計年度任用職員		人		千円	
		その他		人		千円	
		合計				3,168 千円	

成果指標		基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績
①	—					
②						

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	安全・安心な教育施設の整備	4.21	2.93
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく			
重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い			
維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく			
改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			

分析

分析の視点	高い					低い
	5	4	3	2	1	
必要性	■	□	□	□	□	
必然性	■	□	□	□	□	
緊急性	□	■	□	□	□	
実効性	□	■	□	□	□	
時代即応性	□	■	□	□	□	
持続可能性	□	■	□	□	□	
成果・課題等	・必要な学校施設の整備により、児童生徒の教育環境が整備できている。 ・施設・設備の経年による老朽化への計画的な対応が必要となっている。					



軸	1	2	3	4	5
必要性	1	2	3	4	5
必然性	1	2	3	4	5
緊急性	1	2	3	4	5
実効性	1	2	3	4	5
時代即応性	1	2	3	4	5

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和4年度 実績）

予算等事業名	二宮中学校施設管理運営経費 ※				所管課	教育総務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）		総合戦略
	●		●		●		
事業対象	学校	目的	学校運営の充実及び生徒の安全の確保に努める。				
事業概要	学校運営に必要な消耗品や燃料の購入および設備修繕を行う。						

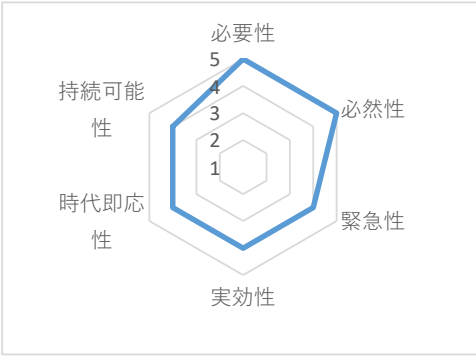
事業予算								
会計	01	款項目	09	03	01	大事業	0002 二宮中学校施設管理運営経費	
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算額		R 4 決算額
	直接事業費	2,488		2,137		3,238		5,270
	概算人件費	3,091		2,907		2,079		3,046
	トータルコスト	5,579		5,044		5,317		8,316
国庫/県支出金		0		0		0		0
その他		0		0		0		0
R 4 概算人件費		正規職員		0.13 人		595 千円		
		再任用職員		0.5 人		1,107 千円		
		会計年度任用職員		1 人		1,344 千円		
		その他		人		千円		
		合計				3,046 千円		

成果指標		基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績
①	—					
②						

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	安全・安心な教育施設の整備	4.21	2.93
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			

分析

分析の視点	高い					低い
	5	4	3	2	1	
必要性	■	□	□	□	□	
必然性	■	□	□	□	□	
緊急性	□	■	□	□	□	
実効性	□	■	□	□	□	
時代即応性	□	■	□	□	□	
持続可能性	□	■	□	□	□	
成果・課題等	必要な資材の購入や修繕の実施により、適切な学校の管理運営が図られている。					



必要性	必然性	緊急性	実効性	時代即応性
5	4	2	2	2
4	3	2	2	2
3	2	2	2	2
2	1	2	2	2
1	1	2	2	2

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和４年度 実績）

予算等事業名	二宮西中学校施設管理運営経費 ※				所管課	教育総務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）		総合戦略
	●		●		●		
事業対象	学校	目的	学校運営の充実及び生徒の安全の確保に努める。				
事業概要	学校運営に必要な消耗品や燃料の購入および設備修繕を行う。						

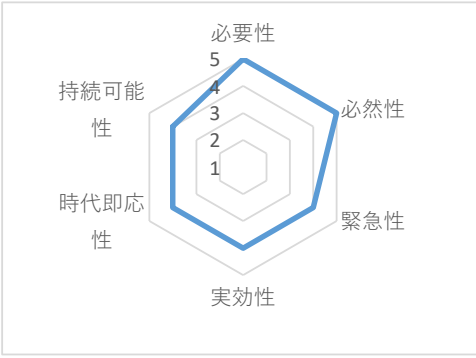
事業予算								
会計	01	款項目	09	03	01	大事業	0003 二宮西中学校施設管理運営経費	
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算額		R 4 決算額
	直接事業費	2,278		1,932		2,776		5,058
	概算人件費	2,763		3,314		3,599		2,521
トータルコスト		5,041		5,246		6,375		7,579
国庫/県支出金		0		0		0		0
その他		0		0		0		0
R 4 概算人件費		正規職員		0.12 人		595 千円		
		再任用職員		人		千円		
		会計年度任用職員		1 人		1,926 千円		
		その他		人		千円		
		合計				2,521 千円		

成果指標		基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績
①	—					
②						

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	安全・安心な教育施設の整備	4.21	2.93
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			

分析

分析の視点	高い					低い
	5	4	3	2	1	
必要性	■	□	□	□	□	
必然性	■	□	□	□	□	
緊急性	□	■	□	□	□	
実効性	□	■	□	□	□	
時代即応性	□	■	□	□	□	
持続可能性	□	■	□	□	□	
成果・課題等	必要な資材の購入や修繕の実施により、適切な学校の管理運営が図られている。					



必要性	必然性	緊急性	実効性	時代即応性
5	4	3	4	3
4	3	2	3	2
3	2	1	2	1
2	1	0	1	0
1	0	0	0	0

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

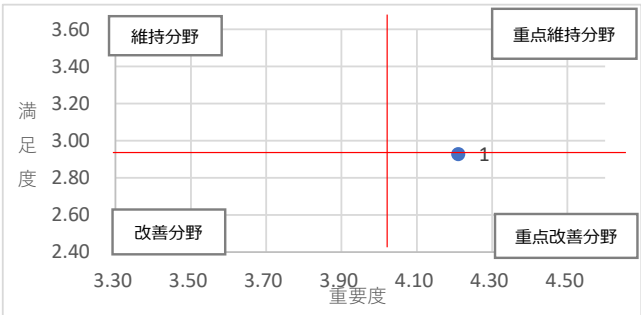
基礎評価シート（令和４年度 実績）

予算等事業名	二宮中学校教育施設整備事業 ※				所管課	教育総務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）		総合戦略
	●		●		●		
事業対象	学校	目的	学校施設改修及び備品購入を行い、教育環境の整備に努める。				
事業概要	学校施設の工事および備品購入を行う。						

事業予算							
会計	01	款項目	09	03	01	大事業	0005 二宮中学校教育施設整備事業
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算額	
						R 4 決算額	
	直接事業費	1,763		5,448		2,639	
	概算人件費	3,052		2,971		1,973	
トータルコスト		4,815		8,419		4,612	
国庫/県支出金		0		1,282		0	
その他		0		0		0	
R 4 概算人件費		正規職員		0.2 人		793 千円	
		再任用職員		0.5 人		1,107 千円	
		会計年度任用職員		1 人		1,344 千円	
		その他		人		千円	
		合計				3,244 千円	

成果指標		基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績
①	—					
②						

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	安全・安心な教育施設の整備	4.21	2.93
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			

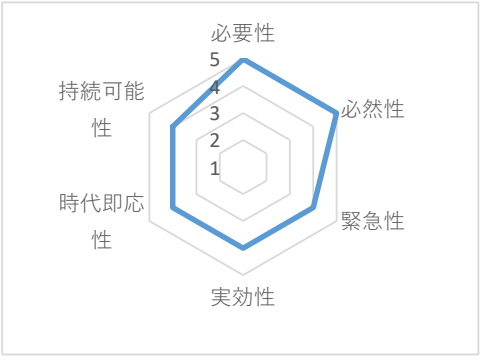


分析						
分析の視点	高い	←————→				低い
	5	4	3	2	1	
必要性	■	□	□	□	□	
必然性	■	□	□	□	□	
緊急性	□	■	□	□	□	
実効性	□	■	□	□	□	
時代即応性	□	■	□	□	□	
持続可能性	□	■	□	□	□	
成果・課題等	・必要な学校施設の整備により、児童生徒の教育環境が整備できている。 ・施設・設備の経年による老朽化への計画的な対応が必要となっている。					

分析

A radar chart with six axes representing different evaluation criteria. The axes are labeled: 必要性 (top), 必然性 (top-right), 緊急性 (bottom-right), 実効性 (bottom), 時代即応性 (bottom-left), and 持続可能性 (top-left). Each axis has five concentric rings labeled 1 to 5 from the center outwards. A blue line connects the data points for each criterion: 必要性 is at 5, 必然性 is at 4, 緊急性 is at 3, 実効性 is at 2, 時代即応性 is at 1, and 持続可能性 is at 1.

Category	Score
必要性	5
必然性	4
緊急性	3
実効性	2
時代即応性	1
持続可能性	1



1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

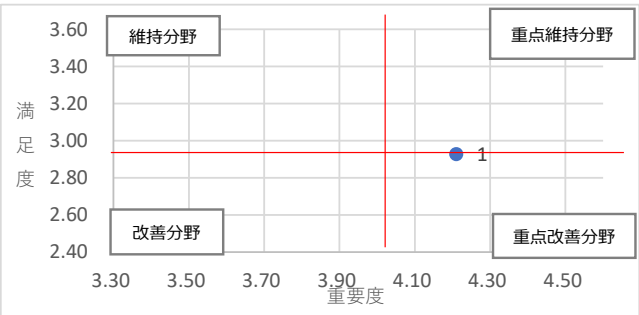
基礎評価シート（令和４年度 実績）

予算等事業名	二宮西中学校教育施設整備事業 ※				所管課	教育総務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）		総合戦略
	●		●		●		
事業対象	学校	目的	学校施設改修及び備品購入を行い、教育環境の整備に努める。				
事業概要	学校施設の工事および備品購入を行う。						

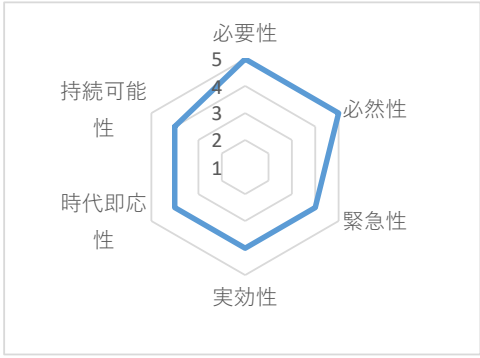
事業予算							
会計	01	款項目	09	03	01	大事業	0006 二宮西中学校教育施設整備事業
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算額	
						R 4 決算額	
	直接事業費	390		2,658		2,635	
	概算人件費	2,723		3,426		3,493	
トータルコスト		3,113		6,084		6,128	
国庫/県支出金		0		1,750		0	
その他		0		0		0	
R 4 概算人件費		正規職員		0.12 人		498 千円	
		再任用職員		人		千円	
		会計年度任用職員		1 人		1,926 千円	
		その他		人		千円	
		合計				2,424 千円	

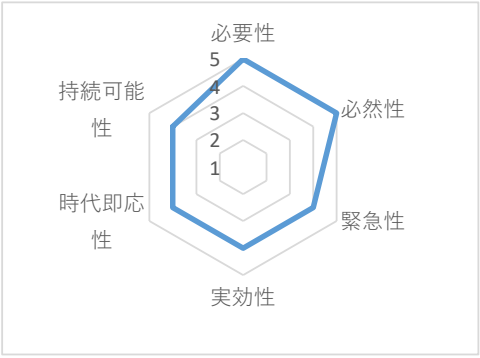
成果指標		基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績
①	—					
②						

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	安全・安心な教育施設の整備	4.21	2.93
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			



分析						
分析の視点	高い					低い
	5	4	3	2	1	
必要性	■	□	□	□	□	
必然性	■	□	□	□	□	
緊急性	□	■	□	□	□	
実効性	□	■	□	□	□	
時代即応性	□	■	□	□	□	
持続可能性	□	■	□	□	□	
成果・課題等	・必要な学校施設の整備により、児童生徒の教育環境が整備できている。 ・施設・設備の経年による老朽化への計画的な対応が必要となっている。					





※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和４年度 実績）

予算等事業名	学校給食施設管理運営経費 ※				所管課	教育総務課
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●		●		●	●
事業対象	学校	目的	学校給食を適切に管理運営し、児童生徒に安心安全でおいしい給食を提供する。			
事業概要	施設の管理を通して、学校給食業務の環境の充実を図る。					

事業予算						
会計	01	款項目	09	05	03	大事業 0001 学校給食施設管理運営経費
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算額
						R 4 決算額
	直接事業費	68,615		85,423		30,847
	概算人件費	16,330		7,109		7,567
	トータルコスト	84,945		92,532		38,414
	国庫/県支出金	0		0		0
	その他	0		0		0
R 4 概算人件費	正規職員		1.15 人		6,102 千円	
	再任用職員		人		千円	
	会計年度任用職員		2 人		1,812 千円	
	その他		人		千円	
	合計				7,914 千円	

成果指標		基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績
①	米飯の残食率（小学校）（％）	18.0	9.7	7.1	7.6	6.3
②	米飯の残食率（中学校）（％）	19.6	14.1	15.1	14.1	12.2

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	安全・安心な教育施設の整備	4.21	2.93
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析										
分析の視点	高い ← 高い → 低い									
	5	4	3	2	1					
必要性	■	□	□	□	□					
必然性	■	□	□	□	□					
緊急性	□	■	□	□	□					
実効性	□	■	□	□	□					
時代即応性	□	■	□	□	□					
持続可能性	□	■	□	□	□					
成果・課題等	・令和４年度は、地場産物としてこれまで提供していた「たまねぎ」「さつまいも」「菜の花」に加え、「原木しいたけ」を使用した給食を提供することができた。 ・給食センターが平成22年７月に建築されてから13年が経過しているため、施設設備及び厨房機器において『修繕計画』に基づいて進めていく必要がある。									

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性：「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			